

水陸萬頃

第9号

奥州農業改良普及センター TEL: 0197-35-6741 FAX: 0197-35-6303
いわてアグリベンチャーネット <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>



※水陸萬頃とは

「続日本書紀」によると、胆江地域は「水と土地が豊かなところ=水陸萬頃」と記されている。

田んぼや畑が賑やかとなり、農作業が本格化してきた今日この頃です。

さて、奥州農業改良普及センターでは、令和4年度定期人事異動により、新採用職員を含む4名が新たに加わり、総勢20名の職員が互いに協力し合いながら、地域課題の解決に向けて普及活動をスタートさせています。

昨年度は、一昨年の大雪の影響や、4月の低温による果樹の凍霜害、6月の局所的な降雹、新型コロナウイルス感染症拡大による影響などがあり、大変な年でした。

特にも、新型コロナウイルス感染症は、県内一円に拡大し、感染者も増え、自らの健康管理はもちろんのこと、家庭内や事業所内の感染を気遣う日々が、今もなお続いています。

この影響を受け、農畜産物等の需要動向も変化しました。特にも米価の引き下げや、資材高騰が大きな問題となっています。

しかし、一方では、就農を希望する方の相談が増えるなど、明るい話題もありました。嬉しいことに、今年度入っても新規就農を目指した相談は増えており、この地で新たに農業に取り組もうとする御一人おひとりに丁寧に対応しているところです。

普及センターでは、今後も基本的な対策を徹底しながら、生産者の皆様に寄り添い、関係機関や業務パートナーの皆様と連携して、アイデアを出し合い、創意工夫を凝らし、生産者の皆様が目指す経営目標の達成や、地域の課題解決の支援を進めて参ります。

引き続き3密を避ける観点からも、電話やFAX、メール等での相談もお受けしていますので、何かお困りごと等ありましたら、遠慮なく御相談ください。

今年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

奥州農業改良普及センター
所長 佐藤 明子



令和4年度 奥州農業改良普及センター活動体制

所長 佐藤 明子

経営指導課

経営指導課長 小田中 浩哉

課員 (7名)

<農業経営グループ>

上席農業普及員	佐藤 千秋	(総括・水稲大豆・経営体育成)
上席農業普及員	星 伸枝	(花き・経営体育成)
技師	齋藤 菜々子	(野菜・経営体育成)

<畜産経営グループ>

上席農業普及員	小川 音々	(総括・畜産・経営体育成)
上席農業普及員	千葉 彩	(畜産・酪農・経営体育成)
農業普及員	羽田 雅紀	(畜産・肉用牛・経営体育成)
技師	濱野 梢	(畜産・肉用牛・経営体育成)

産地育成課

技術主幹兼産地育成課長 佐々木 洋一

課員 (4名)

上席農業普及員	阿部 洋	(総括・果樹)
主査農業普及員	小舘 琢磨	(水稲・大豆)
主任農業普及員	畠山 克也	(野菜)
技師	佐々木 絢菜	(果樹・青年組織)

地域指導課

地域指導課長 長谷川 聡

課員 (4名)

上席農業普及員	遠藤 和歌子	(総括・集落営農・野菜・6次化)
主任農業普及員	村上 大樹	(新規就農・野菜)
主任行政専門員	安部 弘明	(庶務)
技師	佐藤 亮太	(新規就農・果樹)



転入者の紹介



氏名 遠藤 和歌子 (えんどうわかこ)
 役職 上席農業普及員
 前所属 中部農業改良普及センター
 遠野普及サブセンター
 マスク生活で制限も多いですが、
 皆さんと早く仲良くなりたいと
 思います。
 よろしくお願いします。



氏名 小館 琢磨 (こだてたくま)
 役職 主査農業普及員
 前所属 農業研究センター

生産者の皆さんに元気が湧く
 普及活動を提供します。
 一緒に進みましょう。



氏名 畠山 克也 (はたけやまかつや)
 役職 主任農業普及員
 前所属 八幡平農業改良普及センター

何回目かの出戻りです。少しでも皆様のお役に立ちたいと思いますので、
 どうぞよろしくお願いいたします。



氏名 濱野 梢 (はまのこずえ)
 役職 技師
 前所属 新採用



初めての岩手生活、初めての奥州市生活、
 皆様から学ばせていただくことばかりか
 と思いますが精一杯努めますので、よろ
 しくお願いいたします。





転出者の紹介

大変お世話になりました

氏名(役職)	転出先
千葉 守(上席農業普及員)	一関農業改良普及センター
安部 宏美(主査農業普及員)	中部農業改良普及センター遠野普及サブセンター
佐藤 美和子(主査農業普及員)	花巻農林振興センター
佐々木 裕二(主任農業普及員)	退職

🍎御意見番！指導士の声🍎

胆江地方農業農村指導士会（高橋光朗会長）は奥州市、金ヶ崎町の農業農村指導士20名、青年農業士4名からなり、会員相互の連携と研鑽、新規就農者及び青年農業者育成及び農村活性化の推進を目的に、研修会の開催や、市町、県等関係機関との意見交換など様々な活動を行っています。

新規就農者の確保・育成は指導農業士の一番の役割と考えています。今年度は、新規就農者の勧誘活動に一層力を入れて取り組んでいきたいと思えます。



高橋光朗会長

春の農作業安全月間が始まっています！

これから農繁期を迎えます。県では、4月15日から6月15日までを「春の農作業安全月間」とし、農作業事故防止を呼びかけています。安全防護用具の着用、機械の点検、子どもを農業機械に近づけないなど、事故防止を徹底してください。「農作業 ゆとりと声かけ 二刀流」のスローガンのもと、余裕を持って農作業を行いましょう。

「山火事を防ぐあなたの心がけ」山火事防止にご協力ください！

春は空気が乾燥し、風の強い日が多いため、山火事が起きやすい時期で、過去には県内でも大規模な林野火災が発生しています。3月1日から5月31日までは「岩手県山火事防止運動月間」です。以下の事項を徹底し、山火事防止にご協力ください。

- (1) 強風時及び乾燥時には、たき火、野焼き、火入れをしない
- (2) 燃え広がりやすい枯れ草等のある場所では、たき火、野焼きをしない
- (3) たき火や野焼きの場所を離れるときは、完全に消火する
- (4) たき火や野焼きは一人で行わず、水など消火の備えをする
- (5) たき火、野焼き、火入れをするときは、消防署に届け出る
- (6) 火入れを行う際は、市町村長の許可を必ず得る
(森林の周囲1kmの範囲内で「寄せ焼き」や「筋焼き」による野焼きは火入れとみなされること)
- (7) たばこは、指定された場所で喫煙し、吸い殻は必ず消し、投げ捨てない
- (8) 火遊びはしない



新型コロナウイルス感染症に係る農林水産相談窓口を県南広域振興局農政部（0197-22-2841）および奥州農業改良普及センター（0197-35-6741）に設置しています。